参考資料2

「新しい福島県総合計画 中間整理案」に関する意見とその対応について(パブリックコメント等)

No.	章	頁	行	該当項目名	意見等の内容	対応案	摘要
1	0	2	20	はじめに	総合計画は県庁が県政の目標として策定するものではなく、県民一人ひとりや県内で活動する企業・団体がステークホルダーとして行政との間で共有する目標であるという意識を少しでも多くの方に持ってもらえるよう、そのことについて計画に明示すべき。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 ご指摘の趣旨については、はじめに 3計画の特徴(1)に記載しています。また、県民一人ひとりが共有できるような基本目標を今後設定する予定です。 併せて、地域の声を計画の進行管理に生かすこととしており、その仕組みについて現在検討しているところです。	パブコメ
2	1	6	16	第1章 ふくしまの特性と時代潮流	【寛政12年頃の福島県の図】において、水戸から岩沼までを結ぶ岩城街道(磐城街道)は脇街道であるが是非書き入れて欲しい。	○ご意見を踏まえ表現を修正します。 図においても岩城街道(磐城街道)を記載していることから、街道名を記載することとしたい。	パブコメ
3	1	9	2	第1章 ふくしまの特性と時代潮流	「6本の連携軸」に関する図を挿入することにより視覚的に理解しやすくすべき。	○ご意見を踏まえ今後検討してまいります。 計画書(製本版)のいずれかの場所において、入れることとしたい。	パブコメ
4	1	19	4	第1章 ふくしまの特性と時代潮流	「省資源・省エネルギーの推進、再生可能なエネルギーの有効活用」ということは大切だが、地球温暖化の原因とされるCO2排出量が太陽光や風力よりも小さい原発が地球温暖化防止に貢献しているのも事実であり、本県から発信する情報には、我が国最大の発電県として、ぜひ先人たちの想いに報いる意味からも、「うつくしいふくしまの電気」、「低炭素社会の実現に効果的な原発」などという記載をお願いする。	○中間整理案のとおりとします。 本項目では長期的に資源確保が困難になるとの認識のもと、限りある資源に依存しない再生可能エネルギーの長期的な必要性を記載しておりますので、ご理解願います。	パブコメ
5	1	20		第1章 ふくしまの特性と時代潮流	地球温暖化が深刻化すれば、もっとドラスティックな変化が起こるはず。例えば500ppmを超える二酸化炭素濃度になればある種の生物が死滅するとか言う状況も起きるはずで、どの程度をもって深刻化と言うかについては客観的な基準が必要なのではないか。 温暖化以外の問題、例えば水質とか大気とか土壌とかの現状が深刻化しているというならば、どれがどの程度どうなっているから深刻だと言うのか、明確にしてほしい。	○中間整理案のとおりとします。 ご指摘のように「深刻化」に関する明確な基準があるものではありません。ただし、地球温暖化は、①一部の地域だけではなく、地球全体に及ぶという広範囲性を持っていること、②受粉を媒介する昆虫の生態系の変化による農業生産の低下など、思いもしないメカニズムにより影響が広がるおそれがあること、③多くの人々が温暖化の原因を生む側に立っていることなど、従来の公害とは異なる特徴があります。IPCC(気候変動に関する政府間パネル)が予想する今後20年間で10年間当たり0.2℃の気温上昇は、こうした事情を踏まえると、非常に大規模な変化であると考えられ、地球温暖化による環境問題の「深刻化」という表現を使うに足る状況であると考えられます。以上の観点から記載しているものであることから、ご理解願います。	パブコメ
6	1	23	3	第1章 ふくしまの特性と時代潮流	この章の他の項目では、日本全体に関する分析がされているので、地震発生状況も同様に表現してはどうか。	○中間整理案のとおりとします。 日本全体として特に災害が生じている地震の例として「東北地方や北陸地方を震源とする地震」を記載しているものです。	パブコメ
7	1	23	31	第1章 ふくしまの特性と時代潮流	ふくしまでは首都圏より行政が身近な存在で良いが、住民側の自己解決能力が失われることを懸念している。 行政がすべてを担える時代ではなく、住民がやれることはある。 住民が力をつけていくことが必要。そうしないと大切なところにお金が回らない。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 住民ニーズが多様化しており、県民の方々の自己解決能力は今後、より重要性を増していくと考えております。本計画の推進にあたっては、県民の方々と協働して進めていくほか、地域力の向上の支援についても取り組んでまいりたい。これらの趣旨については、第3章及び第5章の政策分野 礎-2-(1)で触れています。	地域懇談会
8	1	27		第1章 ふくしまの特性と時代潮流	時代認識について、国際化や国際交流、人権の尊重、男女共同参画、環境配慮型のライフスタイルに関わる視点などが不足している。 特に、環境との共生は産業活動だけではなく、より幅広い認識が重要。 第2章「めざす将来の姿」には、盛んに世界とのつながりや交流が強調されているのにここに全く出てこないのは違和感がある。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 国際化や国際交流については、p.16～17、男女共同参画社会の形成については、p.22、環境配慮型の生活様式については、p.20で触れています。 第2章では、「環境との共生」という文言は用いていませんが、美しい自然環境の継承、低炭素・循環型社会への転換といった形で触れています。	パブコメ

No.	章	頁	行	該当項目名	意見等の内容	対応案	摘要
9	2	33		第2章　めざす将来の姿	基本姿勢について、何の基本姿勢なのか整理が不十分である。 また、この基本姿勢と「ふくしまの礎」はどういう関係になるのかわかりにくい。	○中間整理案のとおりとします。 ３つの基本姿勢は、めざす将来の姿を考える上での姿勢であるとともに、その実現を目指すための姿勢でもあります（p.33）ので、ご理解願います。	パブコメ
10	2	36	15	第2章　めざす将来の姿	人と地域が輝く「ふくしま」 →分権型社会に対応できて，それぞれの地域の特色が発揮されれば地域は輝くのだろうか？そこに根本的な誤りがあるのではないか。 「分権型社会に対応できる」ということは、確かに大切な事ではあるが、主体となる地域住民に十分な力がなければ、地域は迷走するだけで輝くことは出来ない。 それぞれの地域の特色を生かした地域づくりが大切なことは当然ではあるが、地域間競争の中で差別化を狙う以上、その流れに乗った勝ち組と流れと無縁な多数派が発生することもまた避けられない。 そのような中で果たして地域全体や県全体が「輝いている」などと言えるのだろうか。 どうも「輝いている」という言葉だけが輝いていて実態がまるで伴わない空虚な印象を受ける。	○中間整理案のとおりとします。 「分権型社会への対応」は、主体となる地域住民にそれを支える力があることが、その構成要素の一つであると考えます。 また、ご指摘のとおり、確かに各地域が地域づくり活動の中で競い合うことも考えられますが、地域づくりがその地域の特色を本当に十分に生かしたものである場合、他の地域と同じ土俵で競合するおそれは少なくなるものと考えます。以上の観点で記載しておりますので、ご理解願います。	パブコメ
11	2	38	14	第2章　めざす将来の姿	「産業、資源そして知恵がつなぎ合わされることによって、付加価値の高い産業が躍動する」とされているが、「つなぎ合わせる」は「つぎはぎだらけ」という印象もある言葉であり、つなぎあわせるだけで産業が躍動するかどうかはわからない。 もっと積極的な「仕掛け」をイメージさせるような言葉が必要ではないか。	○ご意見を踏まえ表現を修正します。 「つなぎ合わされる」→「結びつく」	パブコメ
12	2	39	9	第2章　ふくしまのめざす将来の姿	「多様性」の中に性別や年齢だけでなく、国籍や文化などの視点が追加記載され、違う文化の国から来ている人がいることに触れているのはすばらしい。	○記載の趣旨について評価して頂き、ありがとうございます。 県内には多くの外国出身の県民の方々がいることから、そのような方々も含めて考えて記載しているものです。	地域懇談会
13	2	40	11	第2章　めざす将来の姿	安全と安心はベーシックなものであり、安全で安心だからと言って快適な暮らしが保障されるわけではない。快適であると実感してもらうには、安全安心プラスの要素が欠かせないが、ここではどのようにそのプラス部分が提供されるか，その内容や方法が未提示のまま、言葉だけで「快適な」が付加されている。	○中間整理案のとおりとします。 安全・安心は快適さの十分条件ではないとしても必要条件（中でも特に重要な条件）であることことから、必ずしもプラス要素の部分を全て明示しないとしても、将来のイメージを提示するために役立つものとして、このように記載したものです。 ただ、単なる安全・安心の保持ではなく、それが「本県の有する温かい地域のきずなや世代を超えたつながり」に基づいたものであることは、快適さを生むことにつながると考えます。 以上の観点からの記載としておりますので、ご理解願います。	パブコメ
14	2	42	2	第2章　ふくしまのめざす将来の姿	３本の柱のうち、特に「人にも自然にも思いやりにあふれた『ふくしま』」の人に対する「思いやり」、「支え合い」が大切である。それがあれば、すべての政策はうまくいくのではないか。 教育、福祉などの面で、本県から全国に新しい風を吹かせる取組みを展開してほしい。	○施策の展開にあたって参考としてまいります。 「思いやり」や「支え合い」は重要なものと認識していることから、ふくしまを支える柱として取り組んでまいりたい。	地域懇談会
15	2	42	12	第2章　めざす将来の姿	「将来のふくしまでは、県民一人ひとりが周りの人々や県外、海外さらには次の世代への「思いやり」を大切にし、本県に息づいている地域社会のきずなを基礎としながら、お互いに支え合い、責任を持って行動することで、一人ひとりが大切にされる社会となるとともに、自然環境が次の世代に美しい姿で引き継がれています」と書いてあるが、自然環境との関係では、自然へのどのような思いやりが自然環境を次の世代に美しい姿で引き継ぐことになるのか書かれておらず、ただ結果だけが記載されている。また、環境との関係では「美しい自然環境」について書いてあるだけで、これでは国立公園や県立公園などごく一部の環境しかカバーされない。 気候変動など地球規模の環境問題や、身近な水・大気など生活環境問題が取り上げられていないのは問題である。これらは、美しいというキーワードではくくりきれないカテゴリーであり、もっと丁寧な記述が必要である。	○ご意見を踏まえ表現を修正します。 身近な自然環境については、第5章において、美しい自然環境の構成要素として「里地や里山などの自然環境の保全」について記載いたします。 また、ご指摘のありました、この箇所に関しては、人に対するものと自然に対するものとを合わせた「思いやり」（自分や自分のすぐ近くのものに対してだけではなく、遠い関係にあるものに対しても意を用いること）を一般的に記載しています。 なお、第2章は、将来の姿のイメージを記載するものであり、そのイメージを考えるための時代潮流等については、第1章で記載しています。生活環境については、p.43で概略を記載していますので、ご理解願います。	パブコメ
16	2	43	7	第2章　ふくしまのめざす将来の姿	「環境への負荷の少ない低炭素・循環型社会への転換」を記載しているが、原子力発電のことには全く触れていない。 いま地球温暖化問題は世界的な問題であり、本県は、日本最大の発電県として、いかに福島県が全国に先駆け原子力発電を誘致し、昔から低炭素社会の実現に向けて努力してきたか、首都圏にPRすべき。 総合計画の中で環境問題を記載するページには、再生可能エネルギーとともに、原子力発電の環境優位性を記載していただきたい。	○中間整理案のとおりとします。 本項目では第1章のふくしまの特性と時代潮流を受けて、長期的に資源確保が困難になるとの認識のもと、限りある資源に依存しない再生可能エネルギーなどによる環境負荷の少ない社会への転換像を記載しています。	パブコメ

No.	章	頁	行	該当項目名	意見等の内容	対応案	摘要
17	2			第2章　ふくしまのめざす将来の姿	新しい県民運動「100年後も・・・いきいき　ふくしま、うつくしま。」のように、100年後とは言わないまでも30年後の福島県は「こうありたい」というコンセプトが必要であり、県民の実生活に活かせるスローガンやキャッチコピーを示すべき。	○ご意見を踏まえ今後検討してまいります。 スローガンやキャッチコピーに相当するものとして、基本目標を今後設定することとしております。	パブコメ
18	2			第2章　ふくしまのめざす将来の姿	地域づくりは人づくり。これらの施策を実現するのは人。どのような人をどう育てるのか。 人を育てなければこの計画は実現しない。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 地域づくりは人づくりであることから、本計画では「人と地域」を礎として、両輪として人づくりと地域づくりを進めていく考えです。	地域懇談会
19	2			第2章　ふくしまのめざす将来の姿	「環境」は、柱Ⅰ「活力」や柱Ⅱ「安全と安心」にも共通する基盤といえるものであり、柱Ⅲの一部としてよりも、「礎」を構成するものと位置づけることが妥当と考える。実際、環境に関連する項目は、現段階でも柱Ⅰや柱Ⅱに含まれている。（柱Ⅰの農林水産業や柱Ⅱの社会基盤など）。	○中間整理案のとおりとします。 「環境」に限らず、いずれの項目もそれぞれの分野に密接に関連するものと考えております。重視する視点により分類は異なるものと考えられます。今回の計画においては、「人」「地域」を他の柱を進める上での礎として整理していますので、ご理解願います。	パブコメ
20	2			第2章　ふくしまのめざす将来の姿	「思いやり」を上位概念のキーワードとして、その中に「環境」を位置づけることに違和感がある。「思いやり」という言葉を使うことで、人間上位の視点を助長してしまう事を危惧する。人間と環境の相対的な依存関係の強さを想定すれば、上位概念としては「共生」ぐらいが許される限度ではないか。	○中間整理案のとおりとします。 本計画における「思いやり」については、強い立場から弱い立場を思いやるという視点から一歩進み、次世代を、世界に思いを及ばせる（思い遣る）ことが大切といった観点で整理しているものですので、ご理解願います。	パブコメ
21	2			第2章　ふくしまのめざす将来の姿	柱ⅢのⅢ-1「支え合い」は、内容として柱Ⅱの「安全・安心」にすべて含みうるものだと思う。このことと、「環境」を「思いやり」の下位に位置づけることの問題と合わせて考えれば、Ⅲ-1の内容は柱Ⅱに統合し、Ⅲ-2を「礎」に入れることで、現在の柱3本構造を解消することを希望する。 柱は3本でないと座りが悪いといった印象もあってのことだと思うが、内容の整合性を優先して、枠組みを再構築されることを希望する。	○中間整理案のとおりとします。 「安全・安心」については、視点により「支え合い」に挙げた項目のみならず、環境や雇用の確保を含む場合もあるところですが、今回の計画においては、本県の「安全で安心な県づくり条例」に対応した内容で基本的に整理を行っておりますので、ご理解願います。	パブコメ
22	3	47	21	第3章　ふくしまの基本方向	日ごろ接する子どもたちと一緒に活動する機会が多いが、子どもたちが考えていることは大人と変わらないと感じている。 子どもたちに役割を与えていき、子どもたち自身が地域を作る性格があっても良い。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 子どもが参画した地域づくりの観点は、地域づくりの観点に含むものであるほか、第4章に記載されている県民運動においても、その趣旨を含むものと考えております。	地域懇談会
23	3	48	17	第3章　ふくしまの基本方向	「ボランティア活動などを通じて」 → 「ボランティア活動、<u>学校における部活動</u>などを通じて」 （理由） 1　人格の形成期において、近年体験できにくくなっている、先輩、後輩という縦の人間関係を部活動において学ぶことができ、他者を思いやる心や社会の一員としての自覚を育むことにつながる。 2　卒業後も活動を続けることに繋がれば、文化やスポーツなどによる自己実現の場づくりに大きく貢献できる。 3　学校における部活動に対する人的、財政的な支援は、不十分で部活動顧問教師の個人的な頑張りに支えられている部分がとても大きい現状にあるため、施策を実施する必要性とその効果は高いものがある。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 ご指摘のように部活動を通じて、社会性の育成や他者を思いやる心などさまざまな面で子どもたちの育成が図られており、重要な取組みになっております。本計画においては、部活動については、そのような性格もありますが、特に中心的な部分である体力の育成の観点から、第5章　礎-1-(1)-②においてその充実を記載しておりますので、ご理解願います。	パブコメ
24	3	48	24	第3章　ふくしまの基本方向	「これらを進めるため、教員の資質の向上、<u>部活動を含めた</u>学ぶ場の整備を図るなど～」（下線部を加える）	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 部活動については、第5章　礎-1-(1)-②において運動部活動の充実を記載していますので、ご理解願います。	パブコメ
25	3	51	3	第3章　ふくしまの基本方向	電源地域の振興について、電力供給面での日本経済への貢献と対比して税収の減少など地域社会への影響を課題としてあげているが、今までの交付金制度などによる経済的メリット、発電所建設等に伴う雇用の拡大に対する評価や、今後も原子力発電所の運転に伴い発生する核燃料税や固定資産の税収などの経済的メリットには言及せず、一方的な記述に終始している感がある。税収の減少を事業者のせいにしているように誤解されるのではないか。 交付金や税収の減少はある程度予想されていたことであり、それに対して対策を講じてこなかった県の対応を指摘されかねないのではないか。	○中間整理案のとおりとします。 本項目は課題を記載する項目となっております。電源立地地域における時間の経過に伴う税収の減少は、古くからの電源立地地域である奥会津地域の歴史的経過も踏まえたものであり、こういった点については、地域として考えていく必要のある課題と捉えております。以上の観点から記載しておりますので、ご理解願います。	パブコメ

No.	章	頁	行	該当項目名	意見等の内容	対応案	摘要
26	3	51	5	第3章　ふくしまの基本方向	30年後のあらゆることを想定して計画を作ることはとても大切なことは理解できるが、一番大事なのは、足元を見据え、今後5年間の電源立地地域の振興計画を作ることではないか。 電源立地地域の住民が一番切望する地域振興は働き口の確保であり、孫の時代に今の原発に代わるような安定した働き口は果たしてあるのか。 廃炉を想定した後ろ向きの計画よりも、ぜひ、原発の安全運転を第一に、今ある原発と今後双葉で増設される原発の計画を踏まえながらこの地域の振興計画を作ってほしい。	○ご意見を踏まえて表現を修正します。 「電源立地地域においては、電力供給面で我が国の社会経済の発展に大きく貢献しているにも関わらず、時間の経過とともに関連する税収が減少するなど、地域経済への影響も生じています。また、わが国でも経年劣化等により廃止措置の段階に入った原子炉の事例も生じてきている中、県内には、稼働から30年を経過する原子炉が存在しています。これらのことを踏まえ、地域の将来について幅広い視点から検討した上で、特色ある地域づくりを促進し、地域の活力を高めていく必要があります。」	パブコメ
27	3	51	5	第3章　ふくしまの基本方向	原発立地町に住む者にとっては、今後ともいかに発電所との共存共栄を図っていくのか、ということが非常に大きなテーマであり、プルサーマルや増設といった課題についても、安全・安心が確保されることを前提として、推進していく方向で考えている者が、多くを占めているものと思う。 「原発の廃炉を前提とした地域づくりを推進すべきである」ともとれる表現が見られる。本計画は、5か年計画であり、それまでの間に廃炉を前提とした地域づくりを考えるべきという記載には非常に違和感を覚える。これからさらなる発展を目指して増設を推進していこうという立地地域の思いを県として受け入れないという意思表示なのか。 また、その後の記述では、「電力産業との共生を図り、関連産業の誘致や育成を進める必要がある」とあり、首尾一貫していないように受け取れる。 立地地域の思いや実情を踏まえた、当地域の振興、発展につながる総合計画としていただきたい。	○ご意見を踏まえて表現を修正します。 「電源立地地域においては、電力供給面で我が国の社会経済の発展に大きく貢献しているにも関わらず、時間の経過とともに関連する税収が減少するなど、地域経済への影響も生じています。また、わが国でも経年劣化等により廃止措置の段階に入った原子炉の事例も生じてきている中、県内には、稼働から30年を経過する原子炉が存在しています。これらのことを踏まえ、地域の将来について幅広い視点から検討した上で、特色ある地域づくりを促進し、地域の活力を高めていく必要があります。」	パブコメ
28	3	51	5	第3章　ふくしまの基本方向	「将来想定される原子力発電所における廃炉も視野に入れて、・・・」と書かれているが、将来は本県から全ての原子力発電所をなくすということなのか理解に苦しむ。 地域住民は、「安全安心」を大前提とした原子力発電所との共存共栄を望んでおり、地域住民に不安を与える表現である。 また、地球温暖化対策として原子力発電の効果が世界的に認められており、エネルギーの安定供給の面からも計画的な原子力発電の確保が重要と考える。 廃炉は必ず訪れるものであるとは思うが、それは電力会社が言い出すべきことであり、県には、廃炉という言葉を使用し地域住民を不安にさせるのではなく、既存の原子力発電所や福島第一7・8号機の増設計画を踏まえた電源立地地域の振興計画を考えてほしい。	○ご意見を踏まえて表現を修正します。 「電源立地地域においては、電力供給面で我が国の社会経済の発展に大きく貢献しているにも関わらず、時間の経過とともに関連する税収が減少するなど、地域経済への影響も生じています。また、わが国でも経年劣化等により廃止措置の段階に入った原子炉の事例も生じてきている中、県内には、稼働から30年を経過する原子炉が存在しています。これらのことを踏まえ、地域の将来について幅広い視点から検討した上で、特色ある地域づくりを促進し、地域の活力を高めていく必要があります。」	パブコメ
29	3	51	5	第3章　ふくしまの基本方向	「将来予想される廃炉も視野に入れて」という記述があるが、東京電力は未だかつて廃炉計画について具体的な意思表示はしていないはずであり、30年後でも廃炉になっている保証はどこにもない。いたずらに「廃炉」という表現を使う理由が理解できない。ここで言う視野に入れる代表例がなぜ「廃炉」である根拠はないのではないか。 逆に、具体化はしていないものの、東京電力の福島第一原子力発電所では7・8号の増設計画があると聞いている。これは、当然税収の増加や交付金による経済的メリットや雇用の増大など地域振興につながるもので、今後30年を見据えた計画の中で無視することは出来ないものと考える。地域振興という意味では「増設」の方が大きい。県の立場で書きにくい部分は理解できるが、そうであれば、「廃炉」の記述も抹消すべきではないか。	○ご意見を踏まえて表現を修正します。 「電源立地地域においては、電力供給面で我が国の社会経済の発展に大きく貢献しているにも関わらず、時間の経過とともに関連する税収が減少するなど、地域経済への影響も生じています。また、わが国でも経年劣化等により廃止措置の段階に入った原子炉の事例も生じてきている中、県内には、稼働から30年を経過する原子炉が存在しています。これらのことを踏まえ、地域の将来について幅広い視点から検討した上で、特色ある地域づくりを促進し、地域の活力を高めていく必要があります。」	パブコメ
30	3	51	5	第3章　ふくしまの基本方向	「・・・そのため、将来想定される原子力発電所における廃炉も視野に入れて、それぞれの地域が取り組んでいる特色ある地域づくりを一層促進し、地域の活力を高めていく必要があります。」 「廃炉ありき（廃炉が前提）」という印象を受けるため、 ・「『高経年化対策』の充実を進めながら・・・」 ・「原子力発電施設とのより良い『共生』を基本に」 等のフレーズを取り入れ、「廃炉」だけを強調しない内容とするよう希望する。 （上記の背景となる考え方） 1　高経年炉の廃炉は当然である。 2　廃炉の表現が、福島県が原子力発電から撤退するという印象を与えることを懸念する。廃炉は原発からの撤退と同義語ではない。県（知事）は原発から撤退するとは言っていない。 3　核燃料サイクル問題を含め、国は、2050年には高速増殖炉の安全稼働を目標としている。 4　新設炉となる建設炉が、30年先になると考えれば、30年先を見据えた計画と合致する。	○ご意見を踏まえて表現を修正します。 「電源立地地域においては、電力供給面で我が国の社会経済の発展に大きく貢献しているにも関わらず、時間の経過とともに関連する税収が減少するなど、地域経済への影響も生じています。また、わが国でも経年劣化等により廃止措置の段階に入った原子炉の事例も生じてきている中、県内には、稼働から30年を経過する原子炉が存在しています。これらのことを踏まえ、地域の将来について幅広い視点から検討した上で、特色ある地域づくりを促進し、地域の活力を高めていく必要があります。」	パブコメ

No.	章	頁	行	該当項目名	意見等の内容	対応案	摘要
31	3	51	5	第3章　ふくしまの基本方向	「・・・そのため、将来想定される原子力発電所における廃炉も視野に入れて、それぞれの地域が取り組んでいる特色ある地域づくりを一層促進し、地域の活力を高めていく必要があります。」 以下の観点から、配慮ある表現を希望する。 原子力発電所の発電開始から40年を迎えようとする中、立地地域は、国の原子力政策と様々な形で共生し、雇用も含めて多くの地域振興策を受けてきている。 こうした事実を踏まえ、また、国を支える基幹的で重要なエネルギー政策であるという観点からも、供給地としては、今後も、地域の恒久的な安全・安心を国及び事業者に求め、引き続き、地域と共生する地域振興策を図るよう求める必要があると考える。 ついては、現時点で「ふくしまの基本方向」に原子力発電所の『廃炉』を明確に記述してしまうことは、将来の政策変更を予め示唆することにもなりかねないため、一層、良好な共生の関係構築を前提とする視点での、地域特性を活かした産業振興、産業創出、整備等を進める趣旨に表現を改められないか再考願いたい。	○ご意見を踏まえて表現を修正します。 「電源立地地域においては、電力供給面で我が国の社会経済の発展に大きく貢献しているにも関わらず、時間の経過とともに関連する税収が減少するなど、地域経済への影響も生じています。また、わが国でも経年劣化等により廃止措置の段階に入った原子炉の事例も生じてきている中、県内には、稼働から30年を経過する原子炉が存在しています。これらのことを踏まえ、地域の将来について幅広い視点から検討した上で、特色ある地域づくりを促進し、地域の活力を高めていく必要があります。」	パブコメ
32	3	59	29	第3章　ふくしまの基本方向	「介護保険外の福祉サービスが多様な主体によって提供されるようにします」、「障がい者が地域において生活や就労ができるようにします」のように言い切っているが、そのような言い方をされると期待してしまう。無責任ではないのか？果たして現場の声を聞いて作った計画なのか？ もっと現実的に「もう少し頑張れば夢は叶う」というスタンスで作ってほしい。	○中間整理案のとおりとします。 ご指摘の部分は取り組みの方向性を記載している部分であり、その実現に向けて今後5年間で具体的に取り組む部分を記載する第5章においては、より現状を踏まえた内容としております。	パブコメ
33	3	65	15	第3章　ふくしまの基本方向	福島県には、発電の過程で二酸化炭素を出さない原子力発電所が10基もあり、福島県の大きな特徴といえる。国も低炭素社会の実現のために原子力発電は必要不可欠との方針を出している。このような状況下、福島県としても10基ある原子力発電所の安全・安定運転の継続を積極的に支援していく姿勢を、総合計画に盛り込む必要があるのではないか。	○中間整理案のとおりとします。 本項目では、長期的に資源確保が困難になるとの認識のもと、限りある有限の資源に依存しない再生可能エネルギーを中心に環境負荷の少ない社会への転換策を記載しています。	パブコメ
34	4	71	26	第4章　基本方向の実現方策	計画策定後のフォローアップについて、各指標の表す意味や指標の増減・高低の原因を十分吟味すべき。	○ご意見を踏まえ今後検討してまいります。 フォローアップについては、第4章　3実効性の確保(3)計画の進行管理に記載しているところですが、ご指摘の趣旨に留意して取り組んでまいります。	パブコメ
35	4	71	26	第4章　基本方向の実現方策	毎年までいかなくても、2～3年に一度は計画の達成度合いを評価し、軌道修正を行う。また、その内容を県政の重要課題の決定、予算重点項目に反映させることが必要であることから、行政マネジメントツールとしての活用を図っていくことを本文中でしっかりと位置づけるべき。	○ご意見を踏まえ今後検討してまいります。 進行管理については、第4章　3実効性の確保(3)計画の進行管理に記載しているところですが、ご指摘の趣旨に留意して取り組んでまいります。	パブコメ
36	4			第4章　基本方向の実現方策	1. 現在は、情報爆発といえるほど情報が多いため、どの情報が正しいか判断するのが容易ではない。科学的な内容についても、相反する見解が存在していたり、最新の定説が一般に知られていないこともある。そのため、長中期的計画を実施する際の実施方法を検討する際には、幅広い分野の理解をもとに、適切な方法を選択する必要がある。 2. グローバル化や様々な理由によって、変化が激しいのが現代であり、変化に対応できるようにするためには、幅広い分野について、専門的かつ職業意識を持った複数の人間がつねにいろいろなことを検討しておくことが必要である。このようなことができてはじめて、プロアクティブに変化への対応が可能になると考える。 3. 知識集約産業が集中している東京圏以外では、様々な分野の情報や知識を収集するためには、意図的に情報を収集し検討することが必要である。 以上の点から、 1. 選りすぐりの県職員を集めて、さらに外部識者を加えて、中長期的に幅広い分野について常時検討する組織を作ることが必要ではないか。 2. 経験・知識豊富な職員の能力が生かせるような仕組み。プロをプロとして処遇する仕組みが必要ではないか。	○施策の展開にあたって参考としてまいります。 ご意見につきましては、今後の計画の推進に際し、参考とさせて頂きます。	パブコメ
37	5	74	7	第5章　政策分野別の重点施策	よくまとまっているが、問題は具体策の部分。地域事情を考慮した具体策が必要。	○施策の展開にあたって参考としてまいります。 ご意見につきましては、今後の計画の推進に際し、参考とさせて頂きます。	地域懇談会

No.	章	頁	行	該当項目名	意見等の内容	対応案	摘要
38	5	74	13	第5章　政策分野別の重点施策	このままでは10年後の村の子どもの数が10人以下になると聞いた。 出会い促進事業に関わっているが、独身男性が多く独身女性がいないうえに土地柄新たな出会いも難しい。少子化対策の一貫として、出会いの場の提供や独身者の世話役が必要である。いいアイディアがあれば載せていただきたい。	○意見を踏まえて表現を修正します。 第5章　礎1－(1)－①において、「ⅲ　思春期から親となることについて必要な心構えを持たせるとともに、若者の交流を促進することなどを通して、次代の親の育成を進めます。」と下線部を記載します。	地域懇談会
39	5	74	19	第5章　政策分野別の重点施策	(1)子どもたちが心豊かにたくましく育つ社会の実現 ①「子どもを生み育てやすい環境づくり」に「養育不安によるこどもの生活支援」について記載するべきではないか。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 ①ⅱの「妊娠から子育て期に係る相談体制の充実」は、子どもの養育不安に対する支援を含んだ趣旨となっておりますので、ご理解願います。	パブコメ
40	5	74	19	第5章　政策分野別の重点施策	子どもを増やす具体的な対策が入っていないのではないか。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 子どもの出生数を増やす取組みは、総合的な取組みが必要と考えていることから、県としては、子育てに関連する支援や雇用の確保など総合的な的な環境整備を記載しております。これらの施策を通じて、子どもを持つことを希望する方々を応援してまいりますので、ご理解願います。	地域懇談会
41	5	74	19	第5章　政策分野別の重点施策	定額給付金のように、一時的な金銭給付で親が使ってしまうようなものでなく、確実に子どもに還元される視点からの施策が必要である。また、子ども、特に乳幼児のすこやかな育ちの部分も入れてほしい。	○ご意見を踏まえて表現を修正します。 第5章　礎1-(1)-①において、「子どもが健やかに育ち、安心して子育てできる環境づくりを進めるほか」)と「子どもが健やかに育ち」という文言を追加します。 なお、子どもに確実に還元される施策については医療費等の支援を記載しています。	地域懇談会
42	5	74	23	第5章　政策分野別の重点施策	ムラを維持するためには、まずそこに青年がいて、結婚し、子どもができることから始まる。周りでは40～60代での独身者も多く、青年に嫁を見つけてやることが大事である。	○ご意見を踏まえて表現を修正します。 第5章　礎1－(1)－①において、「ⅲ　思春期から親となることについて必要な心構えを持たせるとともに、若者の交流を促進することなどを通して、次代の親の育成を進めます。」と下線部を記載します。	地域懇談会
43	5	74	25	第5章　政策分野別の重点施策	(1)子どもたちが心豊かにたくましく育つ社会の実現 ワークライフバランスの環境づくりを入れるべきではないか。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 ①ⅳの「男性も女性も仕事を続けながら子育てをできるよう、就業環境の改善を促進します。」との表現で、ワークライフバランスについて、触れています。	パブコメ
44	5	74	25	第5章　政策分野別の重点施策	親にとっての幸せと子どもの幸せは必ずしも一致しない。例えば女性の就労支援をするにしても、子どもたちが寂しい思いをしないような視点からの施策が必要。	○意見を踏まえて表現を修正します。 第5章　礎1-(1)-①において、「子どもが健やかに育ち、安心して子育てできる環境づくりを進めるほか」と下線部を追記します。	地域懇談会
45	5	74	27	第5章　政策分野別の重点施策	放課後の子どもの居場所づくりが必要である。地域でも場所があればやりたいという要望が多いので、県や市の所有する空き施設があれば使わせるべき。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 第5章の礎-1(1)において、放課後対策の推進について記載していますので、ご理解願います。	地域懇談会
46	5	74	32	第5章　政策分野別の重点施策	子育ての不安や悩みについての相談は、気構えなければ行けない専用の施設よりも、駅ビルの一角など気楽に寄れるコーナーでできたらいいと考えている。	○施策の展開にあたって参考としてまいります。 ご意見につきましては、今後の施策の推進に際し、参考とさせて頂きます。	地域懇談会
47	5	74	35	第5章　政策分野別の重点施策	風潮が「外国語教育」に振れている中、「国際理解教育」も記載してあるのはすばらしい。これに加えて、福島独自の少人数教育を盛り込んでもらえたらと思う。	○記載の趣旨について評価してくださり、ありがとうございます。 なお、少人数教育については、第5章の礎-1-(1)-②、③において記載しています。	地域懇談会
48	5	74	35	第5章　政策分野別の重点施策	子どもの育ちには自然が重要であるので、その点を子育ての環境づくりの中に入れてほしい。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 第5章の礎-1-(1)-②において、自然体験活動によるこころの育成を記載しています。	地域懇談会
49	5	74	35	第5章　政策分野別の重点施策	子どもの農業体験を実施しているが、その中では、子どもたちに炎天下で何時間も草むしりさせることもあり、キレない子どもを育てることにもなっていると思う。このように、農業の持つ力、農業を切り口にいろいろなことを考えてはどうか。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 農業については、政策分野別の重点施策において、それ自体の振興にとどまらず、農林漁業者との連携による職場体験活動などを通して勤労観・職業観の育成を図ったり、環境保全の観点から環境と共生する農業を推進するなど、多面的な機能の活用を図ることとしています。	地域懇談会

No.	章	頁	行	該当項目名	意見等の内容	対応案	摘要
50	5	75	14	第5章　政策分野別の重点施策	(1)子どもたちが心豊かにたくましく育つ社会の実現 ADHD、病弱な子どもに対する障害児等教育に触れる必要があるのではな いか。具体的には、③「確かな学力の育成とキャリア教育の推進」 の頭に「個々に応じた」という文言を加えてはどうか。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 障がい児等教育に関しましては、政策分野Ⅲ－1(2)「思いやりと支え合いの心に満ちた社会の実現」の④において障がいのある子どもたちのニーズに対応した教育について触れています。 また、③「確かな学力の育成とキャリア教育の推進」において、「個性に応じたきめ細やかな指導」とも記載しておりますので、ご理解願います。	パブコメ
51	5	75	19	第5章　政策分野別の重点施策	(1)子どもたちが心豊かにたくましく育つ社会の実現 ③ⅱの「 国際理解教育」にグローバル化というキーワードを入れる必要があるのではないか。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 第5章の重点施策を実施するに至る理由については、第3章において、施策と対応する形で「課題」として記載することとしています。国際理解教育を進めるに進める理由としては、第3章のp.47、26行目において「さまざまな面でグローバル化が進展する中においては、主体的に考え、独創性にあふれ、国際的な視野を持った人の育成が重要であり、そのための教育の質の向上が求められています。」と記載していますのでご理解願います。	パブコメ
52	5	75	25	第5章　政策分野別の重点施策	農業問題で減反もさることながら、耕作放棄地が非常に目立っている。高齢で耕作できなくなっているが、後継者がいないのが原因だと思う。小・中・高校生が頼りなので、体験学習等を通して興味を持たせていくべき。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 御指摘の趣旨は、第5章 礎-1-(1)-③に記載していますので、ご理解願います。 「地域や企業、商店、農林水産業者等との連携による職場体験活動やインターンシップの実施など、小中高を通したキャリア教育を推進することにより、働く意味や尊さを考えさせ、発達段階に応じた勤労観・職業観の醸成を図ります。」	パブコメ
53	5	75	27	第5章　政策分野別の重点施策	(1)子どもたちが心豊かにたくましく育つ社会の実現 ③ⅳ「キャリア教育」の文面で、「勤労観・職業観の育成」は「勤労観・職業観の醸成」の方がいいのではないか。	○ご意見を踏まえて修正します。 勤労観・職業観の醸成	パブコメ
54	5	76	2	第5章　政策分野別の重点施策	県で制作した「春色のスープ」の撮影に、ボランティアスタッフとして関わって感じたことだが、自分の仕事をやり遂げる力を身につけることや仕事に対する強い意識を持つことが、その人の元気につながる。	○中間整理案のとおりとします。 ご指摘の観点から、第5章の礎-1-(2)の人々がはつらつとして活躍する社会の実現などを記載しています。	地域懇談会
55	5	76	17	第5章　政策分野別の重点施策	(2)人々がはつらつとして活躍する社会の実現 ②「男女共同参画社会の形成」という見出しの表現が、強すぎる。頭に「すべての人が生きやすい」等をいれて、トーンを弱めてはどうか。	○中間整理案のとおりとします。 「男女共同参画社会の形成」については、国際的に国連等で様々な取組みがなされてきているほか、我が国としても男女共同参画社会基本法において「男女共同参画社会の実現を21世紀の我が国社会を決定する最重要課題と位置付け」ているなど、重要な政策としてされ、この表現は既に国内でも浸透しているものと考えられます。本県の現行の総合計画「うつくしま21」においてもこの表現を用いた上で重点施策の一つとして位置づけてもおります。以上の観点から、新しい総合計画においても、「男女共同参画社会の形成」と表示することといたしたいので、ご理解願います。	パブコメ
56	5	76	17	第5章　政策分野別の重点施策	男女共同参画が一時の盛り上がりを欠いている。市町村間のネットワーク構築や各市町村における推進に際する県の支援をお願いしたい。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 男女共同参画については、第5章の礎-1-(2)-②に男女共同参画社会の形成を掲げており、指標としても市町村の男女共同参画計画策定率の向上を目指すこととしておりますので、ご理解願います。	地域懇談会
57	5	76	20	第5章　政策分野別の重点施策	(2)人々がはつらつとして活躍する社会の実現 ②ⅱ「学校教育における男女平等意識の定着」の具体的取組み欄の記載にお いて、「学校教育を通じて、男女平等、相互理解・協力についての意識定着」とあるものを「学校教育を通じて、男女の相互理解・協力についての意識定着」に修正してはどうか。	○ご意見を踏まえ表現を修正します。 「男女共同参画に関する教育の充実を図ります」と修正します。 なお、ⅱは、ⅰの啓発活動の一環であるため、ⅰとⅱを統合し、以下の表現とします。 「ⅰ　男女がともに、持てる個性や能力を発揮できる男女共同参画社会の形成に向けて、普及・啓発活動を進めるとともに、男女共同参画に関する教育の充実を図ります」	パブコメ

No.	章	頁	行	該当項目名	意見等の内容	対応案	摘要
58	5	76	30	第5章　政策分野別の重点施策	文化・スポーツの振興を図ることとしているが、この2つはしばしば併記されるわりに、文化的なことは話題になりにくい。スポーツはスポ少など振興しているが、文化活動を推進しやすくすべき。スポーツばかりでなく、文化活動についても大きく取り上げてほしい。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 今回の計画においては、文化を重要なものと捉え、さまざまな観点から、文化活動を推進することとしております。	地域懇談会
59	5	76	30	第5章　政策分野別の重点施策	(3)文化やスポーツなどによる自己実現の場づくり ①「文化・スポーツの振興による活躍できる場づくり」や②「生涯学習の環境づくりを通じた自己実現の支援」の中に、「子どもを担い手として、育成支援する」内容を盛り込むべき。	○ご意見を踏まえて修正します。 「(3)文化やスポーツなどによる自己実現の場づくり」の総論の部分の冒頭(p.76、31行目)を「子どもから大人、高齢者まであらゆる人が・・・」と修正します。	パブコメ
60	5	77	6	第5章　政策分野別の重点施策	(3)文化やスポーツなどによる自己実現の場づくり ①ⅳにおいて、「あづま総合運動公園」という固有名詞が記載されるのは違和感がある。例示としての表記であれば、かっこ書きという整理もあるのではないか。	○ご意見を踏まえて修正します。 スポーツにふれ親しむ施設としては、あづま運動公園のみではなく、また、都市公園に限られるものでもないことから、「あづま総合運動公園などの都市公園の活用や」を削除します。	パブコメ
61	5	77	23	第5章　政策分野別の重点施策	(3)文化やスポーツなどによる自己実現の場づくり ②ⅲにおいて、「アクアマリンふくしま」という固有名詞が記載されるのは違和感がある。例示としての表記であれば、かっこ書きという整理もあるのではないか。	○中間整理案のとおりとします。 アクアマリンやまほろんなどは、県有の生涯学習施設として大きな役割を有すること、その学習機能や利便性の向上が求められているものです。以上の観点から記載するものですので、ご理解願います。	パブコメ
62	5	78	17	第5章　政策分野別の重点施策	(1)力強さに満ちた地域づくりと分権型社会への対応 「政策分野　礎－2　魅力と個性にあふれた地域社会の実現」のうち、(2)が過疎・中山間地、(3)が電源地域として特出ししているが、(1)「力強さに満ちた地域づくりと分権型社会への対応」の①「都市と農山漁村の連携による賑わいと魅力に満ちたまちづくり」については、都市と農山漁村との連携とはなっているものの、都市部についての取り組みが弱い感じがする。もっと強化すべきでは。	○中間整理案のとおりとします。 (1)①のⅰにおいて、「中心市街地への商業施設や公共・公益施設、オフィスの誘致・立地を促進するとともに、道路や駅前広場の整備など市街地の都市機能を高め、にぎわいづくりと活性化を図ります。」とするとともに、「政策分野Ⅰ－1　地域に根ざした力強い産業の育成」の(1)③ⅰにおいて、県内商業の育成・強化にも触れており、都市部についての取組みも積極的に行うこととしています。 なお、本県においては、広い県土、多極分散型の地域構造を生かし、都市部は都市部のみ、農山漁村部は農山漁村部のみで活性化を図るというのではなく、相互の交流、補完・連携の中で、まちづくりを進めることとしておりますので、ご理解願います。	パブコメ
63	5	78	36	第5章　政策分野別の重点施策	NPO 活動で食べていける、NPO 活動が仕事になる環境づくりが必要。 NPO 等への補助は良いが、活動が終わってからの後払いで補助金をいただくことが多く、苦労している。運転資金の調達が可能となる仕組みが必要。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 本計画においてもNPO、ソーシャルビジネスなどの活動の支援を進めていくこととしています。ご指摘の趣旨は、計画推進にあたり参考とさせて頂きます。	地域懇談会
64	5	78	36	第5章　政策分野別の重点施策	NPOは安い下請けであるという認識しかしていない人もいる。NPOのよさを理解し、その自主性を高めるような施策を進めてもらいたい。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 NPOに関しては、さまざまな社会活動に取り組むボランティアやNPOの活動環境の整備を進めることとしており(第5章　礎-2-(1)②)、県においても、「協働」の観点から連携を図っていくこととしております。 なお、ご指摘の趣旨については、施策の推進にあたり参考とさせて頂きます。	地域懇談会
65	5	80	16	第5章　政策分野別の重点施策	全体の中で「多様性」が使われているが、それを支えているのが過疎・中山間地域、そして文化。文化を支えるのは熱い思いで語る語り部。 子どもの伝統行事などが途切れる状況にあり、残念に思う。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 本県の多様性、活力を支える上で、文化は重要な存在であることから、地域における文化の継承を支援する旨を記載(第5章　礎-1-(3))しております。	地域懇談会
66	5	80	16	第5章　政策分野別の重点施策	先人達の知恵を受け継ぐ文化が重要。「文化」をより強く打ち出すべき。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 文化は県づくりにおいて重要な存在であることから、地域における文化の継承を支援する旨を記載(第5章　礎-1-(3))しております。	地域懇談会

No.	章	頁	行	該当項目名	意見等の内容	対応案	摘要
67	5	80	18	第5章　政策分野別の重点施策	(2)地域住民と多様な主体でともに支える過疎・中山間地域 ②「地域特性を生かした働く場と収入の確保」は、「地域特性を生かした働く場と生活安定の確保」と修正すべき。	○中間整理案のとおりとします。 ①過疎中山間地域で人々が生活を続けていくに当たっては、就労の場とそれによる生活の糧としての収入の確保が非常に重要な課題とされており、地域懇談会においても同趣旨のご意見をいただいているいること、②「生活の安定の確保」といった場合、様々な生活環境の向上等も含まれ、他の項目とも重複すること、③「収入の確保」という表現は、単なる就労だけではなく、何らかの形で収入に結びつく働く場を確保すべきであるという趣旨から用いているものであり、「所得保障」と捉えられるおそれはないものと考え、現在の記載としておりますので、ご理解願います。	パブコメ
68	5	80	27	第5章　政策分野別の重点施策	(2)地域住民と多様な主体でともに支える過疎・中山間地域 ③「安全に安心して…」に関して、「人と地域」の上に3本柱があるとしたら、政策分野Ⅱ－1、Ⅱ－2で記載されている「生活保護、失業・雇用、防犯などの警察、消費者、虐待、災害」をどのように表現するのか。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 「(2)地域住民と多様な主体でともに支える過疎・中山間地域」は、地域づくりの中で、本県の大きな部分を占める過疎・中山間地域に関する施策について特出しし、総合的に記載しているものです。そのため、地域づくりに固有の施策（①の過疎・中山間地域の活力を支える地域力の育成）に加えて、政策分野Ⅰ－1、Ⅰ－2、Ⅱ－1、Ⅱ－2の活力、安全・安心に関するものであっても、過疎・中山間地域の実情に鑑みてその特性に合わせた形で取り組むべき重要な事項に限っては、重ねて記載しています。その他の施策については、原則に戻って、過疎・中山間地域における取組みであっても、政策分野Ⅰ－1、Ⅰ－2、Ⅱ－1、Ⅱ－2での施策で対応しておりますので、ご理解願います。	パブコメ
69	5	81	3	第5章　政策分野別の重点施策	(3)個性的で活力に満ちた電源立地地域 「(3)個性的で活力に満ちた電源立地地域」において、水力、風力発電等については触れているが、火力、原子力、バイオマス発電についての記載がないが、記載すべき。	○ご意見を踏まえて以下のとおり一部修正します。 ①のｉを「・・・水力発電所をはじめ、風力発電、火力発電、原子力発電など全国有数の電力産業と連携した・・・」 と修正します。 なお、バイオマス発電については、太陽光発電等の他のエネルギーと合わせて②のⅱの「再生可能なエネルギー」の一つとして、振興を図るべき「環境・エネルギー産業」の一つとして位置づけていますので、ご理解願います。	パブコメ
70	5	81	8	第5章　政策分野別の重点施策	(3)個性的で活力に満ちた電源立地地域 ①「電気のふるさとの特色ある地域づくりの推進」は、「あらゆる電源地域の特色あるふるさとづくり」に修正すべき。	○中間整理案のとおりとします。 本県が我が国有数の電源立地地域であり、首都圏に対する重要な電力供給県となっているにも関わらず、こうしたことが十分に首都圏の住民に十分認識・評価されていないという状況を踏まえ、「電気のふるさと」（電気の供給元）であることを基礎として、首都圏等と交流を進めたいという趣旨で、この表現としておりますので、ご理解願います。	パブコメ
71	5	83	23	第5章　政策分野別の重点施策	これまでの農業振興では、いかに売上げを伸ばすか、いかに単位面積当たりの収益を伸ばすかが目標であり、福島県では、玉ねぎや人参など、「基礎的野菜」の自給率が低いという現状を生んでしまった。お金になる作物ではなく、日ごろ口にする基礎的野菜の自給率が重要。 表現はこのままでいいと思うが、基礎的野菜をイメージして書いた文章であるのか。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 本計画における指標としては自給率は「カロリーベースの自給率」として捉えております。ただし、施策としては、学校給食における利用促進（地産地消）にも取り組むこととしており、施策の対象範囲としては、本県で食され、本県で生産している作物全般と捉えています。	地域懇談会
72	5	83	30	第5章　政策分野別の重点施策	「底力の発揮」について、もともとの地域資源を活かして、ブランド力・地域経済を高めていくことが重要と感じた。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 本県の豊かな地域資源を最大限に活用していくことが重要であることから、柱Ⅰ-1-(2)-②において地域資源を活用したブランド力の向上等を記載しています。	地域懇談会
73	5	83	30	第5章　政策分野別の重点施策	ここで言う「自給率」とはカロリーベースという理解でいいか。 農産物は、口に入れるものであるのに、最近「金額ベースでの自給率」という計算方法があるが、これは最低だと感じている。あくまでカロリーベースで、福島県が全国の食料生産を担っていこうという姿勢であってほしい。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 自給率についてはカロリーベースで記載することとしております。	地域懇談会

No.	章	頁	行	該当項目名	意見等の内容	対応案	摘要
74	5	83	30	第5章　政策分野別の重点施策	最低賃金以下といわれる農家の収入を最低賃金位まで引き上げることを目標に、農業を安定産業としていくことが必要ではないか。	○中間整理案のとおりとします。 農業の振興については、水田のフル活用や園芸作物の生産拡大等による収益性の高い農林業の実現、農商工連携による高付加価値化および過疎・中山間地域における農林業の多様な担い手の育成・確保などを推進することとしている。	地域懇談会
75	5	84	9	第5章　政策分野別の重点施策	林業は就業者もいるが辞める方も多く深刻な状況。林業は長い時間を要する業であり、その継承が課題。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 林業については、長期的な観点で臨む必要があることから、林業振興（柱Ⅰ-(2)）の観点に加え、環境保全（柱Ⅲ-2-(2)）の観点からも施策を記載しています。	地域懇談会
76	5	84	9	第5章　政策分野別の重点施策	農業・商業の担い手（後継者）確保のためには、若い人や就農希望者のために、「こういう事をやればこれ位の収入になる」といった代表的なビジネスモデルを示すことも必要ではないか。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 農業については柱Ⅰ-1-(2)-②、③において、商業等については、柱Ⅰ-1-(2)-②、③において、さまざまな取組みの支援を行うこととしております。 なお、ご指摘の趣旨については、施策の推進にあたり、参考とさせて頂きます。	地域懇談会
77	5	84	12	第6章　政策分野別の重点施策	地場の商工業者との共栄を考えると、6次産業化よりも、農商工連携が重要である。農商工連携においては、商工業者から生産者に利益が回る仕組みが大切になる。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 第5章柱Ⅰ-1-(2)においては、農商工連携と農林水産業の6次産業化を記載していますが、必ずしも一律的にいずれかを推進するものではありません。農商工連携が適した地域、6次産業化が適した地域など、地域特性や個別の事業者の状況に応じ、対応してまいります。	地域懇談会
78	5	84	16	第5章　政策分野別の重点施策	本県は広域な県で、会津・中通り・浜通りの流通がもう少し活性化する必要があることから以下の記述を追加すべきではないか。 「○七つの生活圏の流通を活性化させ、各地域の重点施策を推進する。 各地域の農林水産物の生産と流通を活性化させ、地産地消を推進して食料自給率を高め、持続可能な社会を形成する。」	○ご意見を踏まえて表現を修正します。 政策分野Ⅰ-1-(2)-③において、「「商業との連携強化による県産農林水産物の<u>県内及び県外における</u>多様な流通網の確保と販路拡大を図ります。」 なお、この他、政策分野礎-2-(1)-①「ⅳ 県内の中心市街地において農山漁村の産品の販売を促進<u>するとともに、農山漁村の直売所の利用促進などに</u>より、人とモノの交流を通じた都市と農山漁村との連携を強化していきます」においても関連の記載があります。	パブコメ
79	5	84	26	第5章　政策分野別の重点施策	福島県は全国的に見ても、出生率は高いが就職先がなく、若者が高校を卒業すると県外へ流出してしまう。留保率の向上は過疎の抑制、ひいては地域力の向上につながる。就職口を確保し、人口流出を食い止めることに力を入れてほしい。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 就職を理由とした他県への転出が大きな課題であることから、本計画においは柱Ⅰ-1地域に根ざした力強い産業の育成を通じて、雇用の場の確保を進める内容で記載しております。	地域懇談会
80	5	85	3	第5章　政策分野別の重点施策	(3)産業を支える多彩な人々の活躍 ②「産業を支える人々の能力の育成」について、育成だけでなく、開発して、伸ばす等という意味を含めて、「産業を支える人々の能力開発と人材育成」としてはどうか。	○ご意見を踏まえて修正します。 「②産業を支える人々の能力開発と育成」とします。	パブコメ
81	5	86	18	第5章　政策分野別の重点施策	二地域居住やIターンの人などの他地域の視点を持った人材の活用が重要。ふくしま型といえるふくしま独自の取組みを進めていくことが必要。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 二地域居住者等の他地域の視点をもった方々は地域の活性化の観点からも重要であることから、交流の促進などを進めていくこと（柱Ⅰ-2-(1)）としています。	パブコメ
82	5	87	1	第5章　政策分野別の重点施策	(2)国内外の観光と国際交流の拡大 「国内外の観光と国際交流の拡大」について、単に「国内外の観光」という表現では寂しい気がする。もっとメッセージ性を出す意味で、言葉を加えるべきではないか。 よって、「国内外の観光と国際交流の拡大」は、「ふくしまの魅力と観光の拡大」と修正すべき。	○ご意見を踏まえて以下のとおり一部修正します。 (2)では観光のみならず、文化・経済を通じた国際交流を含めた記載としているため、<u>「(2)魅力あふれるふくしまの観光と国際交流の推進</u>」としたい。	パブコメ

No.	章	頁	行	該当項目名	意見等の内容	対応案	摘要
83	5	87	1	第5章　政策分野別の重点施策	ある調査結果で本県のブランド力が40位台であった。一つ「これだ！」というものを中心に発信し、観光振興を図るべき。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 観光素材の発掘や商品化の支援等により、ふくしまの新たな魅力づくりを進めていくこと(柱Ⅰ-2-(2))を記載しています。	地域懇談会
84	5	87	5	第5章　政策分野別の重点施策	(2)国内外の観光と国際交流の拡大 ①「国内観光の推進」及び②「国際観光の推進」は、①「国内観光誘客の推進」及び②「国際観光誘客の推進」と修正すべき。	○中間整理案のとおりとします。 観光については、単に誘客のみならず、それを通したまちづくり、地域の魅力の向上などの付随効果も施策の目指す射程に含まれるものであることから「誘客」に限定しない表現としておりますので、ご理解願います。	パブコメ
85	5	87	8	第5章　政策分野別の重点施策	「グリーン・ツーリズム」「エコ・ツーリズム」については大変評価している。加えて、これらの観光の前段階、受け入れる側のセミナーの推進などについても検討していただきたい。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 観光に関しては、受入体制が重要であることから、政策分野Ⅰ-2-(2)-①ⅳに人材の育成等を記載しています。	地域懇談会
86	5	87	8	第5章　政策分野別の重点施策	農家民泊を通じた都市と農村との交流需要は大きいが、受け皿づくりが進んでおらず、希望者を受け入れてあげられていない現状がある。受け皿づくりを地元から県全体へ広げていき、ファームステイを通じて人に来てもらい、農商工連携に話を進めていきたい。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 農林水産業の6次産業化、グリーン・ツーリズムとして、支援に関する記載をしています。	地域懇談会
87	5	87	12	第5章　政策分野別の重点施策	ふくしまにはいい観光地が個々にあるので、滞在型観光を進めているところである。もっともっと広域的なつながり、ネットワークが必要。 本当に重要だということをしっかり位置づけてほしい。	○ご意見を踏まえ表現を修正します。 ご意見を踏まえ、県内の観光地の広域的な連携について、政策分野別の重点施策の政策分野Ⅰ-2-(2)-①において「ⅳ　県内各地域の観光資源の連携を進めるとともに、観光素材の発掘や商品化の支援や地域観光の核となる人材育成の推進などにより、ふくしまの新たな魅力づくりを図ります。」として新たに位置づけ、推進することとしました。	地域懇談会
88	5	90	3	第5章　政策分野別の重点施策	計画に書いてあることと、地域における医療に関する危機感には温度差がある。より具体的な記載が必要ではないか。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 医療に関する課題については、3章の政策分野Ⅱ-1-(1)において、その課題を記載しております。	地域懇談会
89	5	90	7	第5章　政策分野別の重点施策	南会津地域は、小児医療など医療に不安を抱えている。子どもを生み育てやすくするとともに、最低限の安全を確保してもらいたい。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 小児科医療は全県的な問題でもあることから、安心できる地域医療提供体制の充実において、その対応を記載しておりますので、ご理解願います。	地域懇談会
90	5	90	7	第5章　政策分野別の重点施策	緊急車両の通行を考えても、交通の確保がなければ、医療の確保にはつながらない。建設業と医療は福祉の両輪とも言える。建設業の育成支援が重要。	○ご意見を踏まえて表現を修正します。 第5章　政策分野Ⅱ-(2)-①ⅴにおいて、「道路整備等による救命救急センターへのアクセスの向上、」を追加記載します。 また、地域の主要産業である過疎・中山間地域の項目において、新分野進出の支援も記載しています。	地域懇談会
91	5	91	9	第5章　政策分野別の重点施策	私たちは誰もが歳を取る。高齢になり認知症が進んだりすると家族だけでは対応できなくなるので、その辺りを重点的に考えてほしい。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 要介護となった際の社会的な支援が重要であることから、高齢者を対象とした福祉サービスの充実を記載しております。	地域懇談会
92	5	91	16	第5章　政策分野別の重点施策	介護については利用の面でも障害があるほか、働く側としても定着しない問題がある。技術が定着せず、それに伴い事故も生じている。 介護者の処遇改善が必要ではないか。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 処遇改善は介護保険制度や障がい者福祉制度など国の制度の影響が大きいことから、国に対して制度改善を働きかけていくとともに、本計画においても、介護に携わる方々の資質向上を計画においても支援を記載しております(第5章政策分野Ⅱ-1-(3))。	地域懇談会
93	5	91	23	第5章　政策分野別の重点施策	30 年前は、車いすで街中を歩いている人が少なかったが、今はずいぶん見かけるようになった。しかし、住民の意識がまだまだであると感じる。 本当の意味で、障がい者や高齢者など誰もが安心して生活できるようになるといい。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 障がい等にかかわらず暮らしやすいまちとしていくことは重要であることから、人にやさしいまちづくりの推進を記載しています。	地域懇談会

No.	章	頁	行	該当項目名	意見等の内容	対応案	摘要
94	5	92	16	第5章　政策分野別の重点施策	生活防災を重視し、子どもを巻き込んで安全・安心の地域づくりを進めていくべき。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 ご指摘の趣旨は、第5章 政策分野 Ⅱ-2-(1)-①、Ⅱ-2-(2)-②において「地域住民、ボランティア団体、自治体（、警察）が連携して」という部分で記載する扱いとしております。	パブコメ
95	5	94	10	第5章　政策分野別の重点施策	(3)安全で安心な生活を支える社会基盤の提供 ① i「自然災害に対する河川等の整備」は、「(2)災害など不測の事態に対する備えの充実」の①「地域における地震などの災害に備えた防災体制の充実、広域連携による迅速な救済・復興体制の構築」に移動すべき。	○中間整理案のとおりとします。 「政策分野Ⅱ－2　さまざまなリスクに対して安全で安心な社会の実現」の構成は、(1)と(2)はソフト面での施策（(1)は身の回りのリスク、(2)は自然災害等の不測の事態に対するもの）、(3)はこれらを支えるハード面の施策（社会基盤整備）というふうに体系立てをしていることから、「自然災害に備えた河川等の整備」で記載しておりますので、ご理解願います。	パブコメ
96	5	95	15	第5章　政策分野別の重点施策	(1)多様な人々がともに生きる社会の形成 「(1)多様な人々がともに生きる社会の形成」の具体的な取り組みの①と②いずれにもユニバーサルデザインが出てくるのは、違和感がある。一つにまとめてみてはどうか。 また、①ⅲ「ユニバーサルデザインの普及」は、「ユニバーサルデザイン社会の推進」と修正すべき。	○ご意見を踏まえて修正します。 ① 人権擁護、多文化共生などの推進 ⅰ ・・・ ⅱ ・・・ ② ユニバーサルデザインの推進 ⅰ ユニバーサルデザインの考え方の普及のための取組みを進めます。 ⅱ ユニバーサルデザインの視点に立った公共施設、民間施設などの整備を進めるとともに、公益的建築物等における「やさしさマーク」の取組みを推進します。 なお、「ユニバーサルデザインの普及」については、「ユニバーサルデザインの考え方の普及のための取組みを進めます」としています。	パブコメ
97	5	95	31	第5章　政策分野別の重点施策	仕事をしていて感じるが、問題のある子どもは、総じて自尊感情・権利意識が低い。「子どもが大切にされる社会づくり」とあるが、「大切にする」というよりも、子どもが「尊重される」ことが大事ではないか。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 大切には「大いに尊重すること」の意味があることから、原案の記載についてご理解をお願いします。	地域懇談会
98	5	95	33	第5章　政策分野別の重点施策	雇用が重要。まず地域で暮らすことができ、地域で仕事が出来ること。行政の雇用対策には本気さが感じられない。働く場がなければ、そもそもまちづくり人づくりにもならない。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 就職を理由とした他県への転出が大きな課題であることから、本計画においは柱Ⅰ-1地域に根ざした力強い産業の育成を通じて、雇用の場の確保を進めてまいります。	地域懇談会
99	5	96	3	第5章　政策分野別の重点施策	将来の姿に人づくりがあるが、重点施策に全体的に人づくりの項目が抜けているのではないか。特に、失業対策としての職業訓練はあるが、高校卒業者に対する職業訓練の場が足りない。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 重点施策においても人づくりの観点から「礎-1　子どもから大人まで一人ひとりの輝きが見いだせる社会の実現」において記載しています。 失業対策以外の職業訓練については柱Ⅰ-1-(3)産業を支える多様な人々の活躍において、テクノアカデミー等を活用した育成を記載しています。	地域懇談会
100	5	96	14	第5章　政策分野別の重点施策	町内でも単身高齢者が増えており、人と人とのふれあいや思いやりが大切であり、小さな町では特に重要だと感じる。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 人と人とのふれあいや思いやりは、重要な観点であることから、ふくしまを支える柱として「思いやり」を取り上げているほか、地域コミュニティの部分や孤立しがちな人々に対する支援ネットワークを第5章　Ⅲ-1-(2)に記載しています。	地域懇談会
101	5	96	26	第5章　政策分野別の重点施策	(2)思いやりと支え合いの心に満ちた社会の実現 ④「援助を必要とする子どもや家庭への支援」について、障がい児に対する教育は、「特別支援」という表記をとるのが一般的なので、修正してはどうか。	○ご意見を踏まえて表現を修正します。 「障がいのある子どもたち一人ひとりのニーズに対応した特別支援教育の充実を図ります。」	パブコメ
102	5	97	33	第5章　政策分野別の重点施策	(1)美しい自然環境の継承 「美しい自然環境の継承」に、③ⅳとして「里山の景観」を別立てするか、③ⅰの「自然景観」に入れてもらいたい。	○ご意見を踏まえて修正します。 ③ⅲ「都市における街並みや農山漁村における里山など潤いとやすらぎのある景観の保全と創造に努めます。	パブコメ

No.	章	頁	行	該当項目名	意見等の内容	対応案	摘要
103	5	97	33	第5章　政策分野別の重点施策	福島は文化圏が尊重されており、それぞれの景観の継承が大切であるので、「看板の色を揃える」等、具体的に突っ込んだ施策を入れてもよいのではないか。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 景観は本県の貴重な宝であることから、柱Ⅲ-2-(2)-③として「良好な景観の形成」を記載しています。 なお、ご意見の趣旨については、施策の推進にあたり参考とさせて頂きます。	地域懇談会
104	5	97	33	第5章　政策分野別の重点施策	効率化を重視する農業を推進するだけではなく、中山間地域の小さな田んぼも景観など多面的機能の観点から保全してほしい。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 景観の項目（柱Ⅲ-2-(2)-③）において、農山漁村における潤いとやすらぎのある景観の保全・と創出を記載するとともに、同②において農地の保全等についても記載しています。	地域懇談会
105	5	98	7	第5章　政策分野別の重点施策	水や人が回っていくこと、循環型社会の形成を重点的にやってほしい。規格外の農産品への支援、小水力発電による明るい集落の実現を考えている。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 循環型社会の形成については、柱Ⅲ-2-(2)において、環境への負荷の少ない低炭素・循環型社会への転換として記載しています。 なお、ご意見の趣旨については、施策の推進にあたり参考とさせて頂きます。	地域懇談会
106	5	98		第5章　政策分野別の重点施策	(2)環境への負荷の少ない低炭素・循環型社会への転換 「環境への負荷の少ない低炭素・循環型社会への転換」の細項目の並び順を次の通り →　②、③、④、①に修正すべき。	○ご意見を踏まえて修正します。 ②、③、④、①の順に修正。	パブコメ
107	5			第5章　政策分野別の重点施策	各施策に具体的な数値目標を示すべき。	○ご意見を踏まえ今後検討してまいります。 各施策に数値目標を記載することとしています。	パブコメ
108	6	101		第6章　地域別の重点施策	県北の「個性が輝く地域活力の創出」や、県南の「地域の持続可能な発展を担い、自らの手で地域を牽引できる人づくり」、相双の「地域特性を生かした農林水産業等の振興と地域活性化」、いわきの「創造的で活力のある産業の展開」は、どの地域でも重点的に取り組むべきテーマだと思うが、なぜ特定の地域だけの重点施策なのかわかりにくい。	○中間整理案のとおりとします。 地域別の重点施策については、各地域で、地域の人たちの意見を踏まえ、重点的に取り組む施策の方向性について記載しておりますので、ご理解願います。	パブコメ
109	6	101		第6章　地域別の重点施策	安全・安心は、県北の「安全で安心な生活を支える基盤の整備」、県中の「安全で安心に暮らせる地域社会の形成」、南会津の「生活基盤の維持・整備による安全で安心な暮らしの確保」、相双の「安全で安心なくらしや交流を支える基盤の整備・充実」、いわきの「人と人とがつながる安全で安心な環境づくり」と似たような表現が羅列されているが、どこがどういう風に同じで、どこがどういう風に違うのかがわからない。 安全安心につながる基盤づくりならば、無理に言葉遊びをせずに主なものを列記したほうがよりわかりやすいし、会津や南会津ならば雪に強い地域づくりをもっと前面に出したほうがわかりやすい。	○中間整理案のとおりとします。 地域別の重点施策については、各地域で、地域の人たちの意見を踏まえ、重点的に取り組む施策の方向性について記載しています。	パブコメ
110	6	105	2	第6章　地域別の重点施策(県北)	観光や特産品など、地域では様々な活動があるが、情報を発信しすぎて、受け手側は受信過多になっているのではないか。 受け手を想定した発信方法や連携方法が重要であると感じている。	○施策の展開にあたって参考としてまいります。 地域資源の発掘及び情報発信に関する事業の実施に当たっては、より効果的な情報発信ができるよう留意しながら取り組みたい。	地域懇談会
111	6	106	6	第6章　地域別の重点施策(県北)	花見山には、県内外からの観光客がたくさん来るが、花見山以外の場所を観光することなく、すぐ帰ってしまう。通過させずに地域の良さを感じてもらう取組みが重要。 また、良い取組みであっても、今の世代に受け入れてもらえるようなアプローチが重要。	○施策の展開にあたって参考としてまいります。 花見山への観光客の回遊性の向上については、うつくしま奥の細道「花・街・道」観光キャンペーンにおいても取り組んでいるところですが、着地型キャンペーンを推進する中でより効果的な手法について検討していきたい。	地域懇談会
112	6	110	17	第6章　地域別の重点施策(県中)	福島産の安全安心な商品なら、価格が高くても中国などに輸出できる。福島空港は県民ぐるみでどう活用するか考えていく必要がある。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 福島空港の利活用については、「『福島空港』と地域資源を活用した交流人口の拡大」の重点施策として、地域と一体となった利用促進や県民の空港として親しむことができるにぎわいづくりに努めることとしています。 また、政策分野別の重点施策においても、県民の空港として位置づけ、利活用を図ることとしています。	地域懇談会

No.	章	頁	行	該当項目名	意見等の内容	対応案	摘要
113	6	114	6	第6章　地域別の重点施策(県南)	全体的に、かゆい所に手が届くように書いてあるが、実現のために、具体的に何をどのようにしてそうするのかが見えない。例えば、首都圏へ出た人をどう呼び戻すのか、首都圏からの移住者にどうアピールするかなどが見えるようにしてほしい。	○施策の展開にあたって参考としてまいります。 Uターンの促進、定住・二地域居住の推進については、地域産業の振興、広域連携による交流の拡大により、地域の魅力をアピールしながら取り組むこととしており、より効果的な手法等について検討してまいりたい。	地域懇談会
114	6	114	14	第6章　地域別の重点施策(県南)	農業について、首都圏への近接性ということだけでなく、地域特性が出せるようなバックアップ体制が必要。また、出口ベースがないと農家が作っても収益として戻ってこないので、単に生産拡大や近接性ということだけでなく、魅力あるものという点も施策として考えてほしい。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 県南地域の農業については、その地理的特性に着目しながら、新たな産地づくり、生産拡大に向けた農産物の付加価値の向上や農商工連携などを進めることとしています。 また、政策分野別の重点施策においても「農林水産業の持つ底力の発揮」に位置づけ、農林水産業の総合力の強化を図ることとしています。	地域懇談会
115	6	114	21	第6章　地域別の重点施策(県南)	乳幼児を健やかにはぐくむ視点が、言葉として入っていない。新しい命を、県南地域の将来の宝として守っていくような形にしてほしい。	○中間整理案のとおりとします。 地域の将来の担い手を育成するためには、子どもたちの心身健やかな成長が不可欠であるとの認識の下、地域をあげて取り組んでいくこととしています。 また、政策分野別の重点施策においても「子どもたちが心豊かにたくましく育つ社会の実現」に位置づけ、県全体で施策を進めることとしています。	地域懇談会
116	6	114	21	第6章　地域別の重点施策(県南)	「スポーツに取り組む環境づくりを支援することで子どもたちの心身の健やかな成長を図る」とあるが、スポーツだけでなく、美術や音楽など文化的な部分も必要であるので、取り入れてもらえると嬉しい。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 地域別の重点施策において、スポーツとともに「地域の文化」に触れ親しむ環境づくりの支援、地域住民の手による文化芸術活動など地域に息づく文化の魅力の発信について記載し、ご指摘の趣旨を含めています。 また、政策分野別の重点施策においても、「文化やスポーツなどによる自己実現の場づくり」に位置づけ、芸術・文化に触れ親しむ機会の充実を図ることとしています。	地域懇談会
117	6	115	12	第6章　地域別の重点施策(県南)	平泉などを見てもわかるように、すばらしい文化遺産も、人に来てもらうためには一定の環境整備が必要。県南地域でいうと、南湖公園、白河の関などは、(手をつけてはいけない部分もあるだろうが、)交流拡大のためにも手をかけて整備する部分も必要ではないか。	○施策の展開にあたって参考としてまいります。 県南地域の歴史的文化資源については、魅力ある地域資源として全国へ向けて発信していくこととしており、その魅力をより高めるための工夫等について、関係機関と連携しながら取り組んでいきたい。	地域懇談会
118	6	116	10	第6章　地域別の重点施策(会津)	会津には、確かに「歴史」はあるが「文化」はあるだろうか。 会津は「文化がある」前提で話してしまうが、本当は磨き上げや発信をしなければいけない。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 地域別重点施策の課題において「地域の伝統・文化などの地域資源の有効活用・発信」の必要性を示すとともに、重点施策において、地域に眠る素材の発掘と磨き上げによる会津ならではの新しい観光商品の開発、地域資源を生かした地域の再生・活性化の取組みを支援することとしています。	地域懇談会
119	6	117	2	第6章　地域別の重点施策(会津)	会津のページを読むと、とてもいい印象を受けたが、「ここ(会津)はいいところだね」だけでなく「みんなで頑張ろう」という意識を高められる計画であってほしい。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 新しい総合計画では、県民、民間団体、市町村、県などさまざまな主体が連携し、協力しながら、夢と希望にあふれるふくしまを創造していくに当たって共有する目標や3つの基本姿勢を掲げます。 また、第4章の基本方向の実現方策において、さまざまな主体がそれぞれの役割を認識し、力を合わせて取り組んで行くことなどを記載しています。	地域懇談会
120	6	117	22	第6章　地域別の重点施策(会津)	若者の学校卒業後の就業の選択肢の中に農業は入っていない。農業は就職するものではなく、親から継ぐものという意識が高いようだ。 半農半X のU･I ターン者を増やしていきたいと考えている。	○案のとおりとします。 農業の経営力の強化や担い手の育成、また、県内の就業機会の増加を図るため、政策分野別の重点施策において、「農林水産業の持つ底力の発揮」、「多様な就業機会の提供、県内への就職誘導」に位置づけ、推進することとしています。	地域懇談会

No.	章	頁	行	該当項目名	意見等の内容	対応案	摘要
121	6	118	6	第6章　地域別の重点施策(会津)	自然や文化の資源や全国有数の農産物など、福島、会津にはいいものがたくさんあるが、売りこみ方が下手であると感じている。行政や民間が役割分担をし、磨き上げや販路の拡大を図る必要がある。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 新しい総合計画では、ふくしまの将来の姿を考え、その実現をめざしていく上で、重要である考え方を3つの基本姿勢として捉えて、その一つとして「ふくしまの魅力の再認識、磨き上げ、発信」を掲げるとともに、政策分野別の重点施策の柱Ⅰ-1-(2)-③において、農商工連携による販路拡大等について触れています。今後、こうした取組みを地域の方々や関係団体などの協力をいただきながら進めていきたい。	地域懇談会
122	6	118	7	第6章　地域別の重点施策(会津)	P87で「グリーン・ツーリズム」だけでなく「エコ・ツーリズム」の言葉も入っていて良かったが、ここでは「グリーン・ツーリズムなど」という表現になり、「エコ・ツーリズム」が抜けてしまっている。 今、裏磐梯から情報を発信して、エコ・ツーリズムを盛り上げていこうとしている段階なので、ここにも入れてほしい。	○ご意見を踏まえて表現を修正します。 「グリーン・ツーリズム、エコ・ツーリズムなどにより、滞在型観光を推進します。」と修正します。	地域懇談会
123	6	120	17	第6章　地域別の重点施策(南会津)	南会津地域のように、一つの地域に湿原がこれほどあるのは珍しい。「尾瀬」と「ブナ林」という言葉は何度も入っているので、「湿原」という言葉も入れてほしい。	○ご意見を踏まえて表現を修正します。 地域特性及び施策の展開方向において、「尾瀬<u>などの湿原</u>」と修正します。	地域懇談会
124	6	122	5	第6章　地域別の重点施策(南会津)	南会津は、農業はもちろんだが、観光をもっと推進できないか。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 観光は、南会津地域の主要な産業であるため、南会津地域の地域別重点施策においても「地域資源を活用した交流人口の拡大」という項目を設定し、国道289号甲子道路の開通に伴う広域観光圏の形成や滞在型観光の推進を図ることとしています。 また、南会津町と只見町が農山漁村交流推進プロジェクトの受入モデル地区に指定されたことに伴い、教育旅行についても積極的に推進していくこととしています。	地域懇談会
125	6	122	6	第6章　地域別の重点施策(南会津)	農業も土台を作れば、もっと盛んになる。南会津に合った農業を支援してほしい。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 農業は南会津地域の基幹産業であるため、夏期冷涼な気候を生かした園芸作物の産地形成や冬期の農業収入を確保するための取組みへの支援など、南会津地域の気候に適した農業を推進するとともに、特産品の開発、販路の開拓を促進し、生産拡大を図ることとしています。また、農業後継者の確保についても支援していくこととしています。	地域懇談会
126	6	122	9	第6章　地域別の重点施策(南会津)	職がないので子どもにUターンをさせたくてもさせられない。私の住む地域(南会津)は条件不利地域であり、企業誘致も難しい。自分で仕事を興すための緩やかな支援制度がほしい。 また、高校卒業後に戻れる環境づくり、一度出てしまうと戻らないので、できるだけ出さないようにすべき。	○施策の展開にあたって参考としてまいります。 学校卒業後、地元に就職し生活していけるよう、空き工場への企業誘致など南会津地域の特性に応じた企業誘致を行うとともに、新規創業や異業種参入に係る取組みを支援することにより雇用創出を図っていくこととしています。また、事業や農業の継承を希望する人の育成を図ることとしています。 なお、政策分野別の重点施策においても「産業を支える多彩な人々の活躍」に位置づけ、多様な就業機会の提供や産業を支える人々の能力育成などを図ることとしています。	地域懇談会
127	6	122	9	第6章　地域別の重点施策(南会津)	高校を卒業すると町を出て行ってしまうのが悩みであり、仕事がない状況で「帰ってこい」とも言えない。 青年が減るような環境は問題であり、引き留めるためのサポートが必要。	○施策の展開にあたって参考としてまいります。 上記と同様です。	地域懇談会
128	6	123	5	第6章　地域別の重点施策(南会津)	雪遊び、スノートレッキングなど、雪などの地域資源を積極的に活用すべき。 そのためのガイド育成についても、併せて支援をお願いしたい。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 雪を含む南会津地方の多様な自然環境を活用した滞在型観光を推進していくこととしています。また、教育旅行などにおけるガイドの育成を含む受入体制を整備していくこととしています。 なお、施策の展開にあたっては、ご意見を参考にしてまいります。	地域懇談会

No.	章	頁	行	該当項目名	意見等の内容	対応案	摘要
129	6	126	16	第6章　地域別の重点施策(相双)	雇用についても多様性が重要。一つの工場を持ってきてもそこが倒れればどうしようもない。また、コンピュータのプログラマーなどは、この地域では就職先がない。 産業の多様性ということをもっと力強く位置づけていくことが必要である。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 地域別の重点施策においては、輸送用機械、半導体関連産業や今後発展が見込まれる環境・エネルギー産業などについて集積を促進するとともに、農商工連携などによる地域産業の発展を図ることとしています。 また、政策分野別の重点施策においても、「地域に根ざした力強い産業の育成」に位置づけ、多彩な人々が活躍できるような環境づくりを進めることとしています。	地域懇談会
130	6	126		第6章　地域別の重点施策(相双)	相双地域(双葉郡)では、2つの原発に多くの人が働いており、立地してから40年近くが経ち、住民の生活と密接に結びつき、なくてはならない存在になっている。これから増設も計画されており、今後この地域の発展のための促進剤として、地元の期待も大きいと考える。今後とも原発との共存共栄が必要不可欠であると考える。 しかし、相双地域の重点施策では、原発の増設を前提とした施策について全く触れられていない点に違和感を強く感じる。当地域は、医療体制、道路整備などの面で、県内でもまだまだ遅れているのではないかと感じており、この状況を少しでも解消するためには、原発の増設によってはいる交付金や税金を活用していくことが、この地域に住む住民にとって大きな関心事ではないかと思う。原発増設に触れずにこれらの課題をどのように解消するつもりなのか。 私たちの生活が、より快適で利便性が向上する、そして安心して暮らせるよう、この地域をとりまく現状を踏まえ、より実効性のある計画としていただきたい。	○中間整理案のとおりとします。 ご指摘の趣旨については、第3章　礎-2(3)個性的で活力に満ちた電源立地地域の課題において、「地域の将来について幅広い視点から検討した上で、特色ある地域づくりを促進し、地域の活力を高めていく必要があります。」と記載しております。 また、同項目の取り組みの方向性において、地域特性に応じた多様な施設の有効活用、交流拠点施設と、生活基盤の整備、さらには本地域における環境・エネルギー産業の裾野を広げ、観光業をはじめとした産業の振興を図ることを記載しておりますので、ご理解願います。	パブコメ
131	6	130	6	第6章　地域別の重点施策(いわき)	いわきは、アクアマリンやハワイアンズで集客しているが、「他にどこかないか」という問い合わせを多く受ける。中山間地域で自然に触れられる観光地(観光農園を含めて)ができると滞在してくれるのではないか。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 地域別の重点施策の「多様な地域資源を生かした広域交流圏の形成」において、森・川・海の豊かな自然等を生かして都市農村交流を促進することとしています。 なお、施策の展開にあたっては、ご意見を参考にしてまいります。	地域懇談会
132	6	131	21	第6章　地域別の重点施策(いわき)	高齢者には、出かけたいという希望すら発しない人も多い。また、出かけるための生活の足もない。 地域から、高齢者の手となり、足となり、耳となる、おせっかいおばさんを作らなければいけないと感じる。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 地域別の重点施策の「人と人とがつながる安全で安心な環境づくり」において、地域を支え合う取り組みを支援することとしています。	地域懇談会
133				全体	この計画は各家庭に配付されるのか。計画は誰のために作っているのか。県民(当事者)が知らない間に計画が進められてしまうのではないか。 県民に計画の内容を知ってもらうことが大切である。	○ご意見を踏まえて今後検討します。 計画書本体については各家庭に配布することは困難と考えられますが、県の広報媒体を活用し、計画の概要について広く広報を進めるとともに、分かりやすい概要版の作成や容易な入手方法の検討など、より多くの県民の方々に触れて頂く機会の増加に努めてまいりたい。	地域懇談会
134				全体	読みにくいので、プロの編集者の手を借りて、レイアウト、イラスト等に工夫をして県民に読んでもらえる計画にすべき。	○ご意見を踏まえて今後検討していきます。 製本する際にはレイアウトを工夫するとともに、イラストを入れるなど見やすく、読みやすいものとしてまいりたい。	パブコメ
135				全体	現状を踏まえた内容になっているというのが率直な感想。総合計画は飾り物ではなく行政版マニフェストであるので、実情に即してすぐに実行できるものを凝縮すべき。	○中間整理案のとおりとします。 県の業務は極めて広範であることから、必ずしも凝縮された内容になっていない面があります。指標などを活用しながら、より分かりやすい表示などの対応を検討してまります。 また、ご指摘の趣旨については、第4章に記載した実効性の確保の観点からも参考とさせて頂きます。	地域懇談会
136				全体	地方分権について、県独自の規制や法律の制定、通貨の発行等「何ができて、何ができない」という地方分権の範囲と限界を併記しないと県民が理解できないのではないか。	○ご指摘については中間整理案でも触れています。 第4章の1(3)の県の役割と姿勢において、県の役割、国への制度改革要望について記載しています。	パブコメ
137				全体	思いつく限り良いことを詰め込んだ感じがするので、もっと的を絞ったようなものがいくつかあるといった方が良いのではないか。 県民に理解させるのであれば相当の努力と工夫が必要であり、どう理解してもらうかが課題ではないか。	○ご意見を踏まえて今後検討します。 計画のポイントを絞った概要版の作成するなど、より多くの県民の方々に知って頂けるよう努めてまいりたい。	地域懇談会

No.	章	頁	行	該当項目名	意見等の内容	対応案	摘要
138				全体	現状を踏まえた内容になっているというのが率直な感想。言葉の使い方も分かりやすい。 しかし30年後の目標を持たなければいけないのは分かるが、これだけ社会が進化してしまった今、それを持つ必要があるのか。もっと身近なところで修正が加えられる計画であってほしい。	○中間整理案のとおりとします。 30年後の姿については、現時点における立ち位置から、長期的な観点で描いているものであり、5年後の計画の改定時に際しては、その時点にあった内容で修正をすることとなります。 なお、計画期間中において必要が生じた場合は、変更を行う旨を第4章において記載しています。	地域懇談会
139		1		指標候補一覧	(1)子どもたちが心豊かにたくましく育つ社会の実現 この項目の指標に「部(活動)への加入(参加)率」を加えてはどうか。	○中間整理案のとおりとします。 指標については掲載数に一定の制約があることから、現在の案としております。	パブコメ
140		2		指標候補一覧	「過疎・中山間地域における工場立地件数」 過疎・中山間地域においての工場立地は必ずしもふさわしくはないと考える。指標から外してもよいのではないか。	○中間整理案のとおりとします。 過疎・中山間地域については地場産業の育成が重要ではありますが、さらなる働く場の確保を図るため、工場立地も進めているものであることから、記載することとしています。	パブコメ
141		3		指標候補一覧	「製造品出荷額」、「農業粗生産額」 製造品出荷額や農業粗生産額は経済フレームであって指標ではない。	○中間整理案のとおりとします。 製造品出荷額等は、経済フレームの一つであり、また、多くの要因が基となって生まれるものではありますが、産業政策、農業政策の最終的な目標として選定しています。	パブコメ
142		5		指標候補一覧	「介護保険の要介護(要支援)に該当する高齢者の割合」 具体的な数値目標を設定するには抵抗がある。現状より減らすという目標にしてはどうか。	○中間整理案のとおりとします。 掲げる目標値よりも最大限減らしていく性格の指標と捉えております。より実効性のある取り組みを推進するためにも、あえて目標とする抑制水準を示してまいりたい。	パブコメ
143		6		指標候補一覧	「交通事故死亡者数」 具体的な数値目標を設定するには抵抗がある。現状より減らすという目標にしてはどうか。	○中間整理案のとおりとします。 掲げる目標値よりも最大限減らしていく性格の指標と捉えております。より実効性のある取り組みを推進するためにも、あえて目標とする抑制水準を示してまいりたい。	パブコメ
144		7		指標候補一覧	「自殺者数」 具体的な数値目標を設定するには抵抗がある。現状より減らすという目標にしてはどうか。	○中間整理案のとおりとします。 掲げる目標値よりも最大限減らしていく性格の指標と捉えております。より実効性のある取り組みを推進するためにも、あえて目標とする抑制水準を示してまいりたい。	パブコメ
145		7		指標候補一覧	「自殺者数」 目標値が「検討中」となっているが、自殺とは、本当に追いつめられてどうしようもなくなってするものであるので、本当ならば0人にするのが最終目標である。 自殺者そのものの数値を目標にするよりは、自殺者と相談件数の比較などを検討してみてはどうか。	○中間整理案のとおりとします。 ご意見のとおり本来は0人とするのが最終目標ですが、本県は500人台で横ばいで推移してしまっていることから、明確な目標を立て、より効果のある取組みを進めてまいりたい。 なお、その場合であっても本来の目標を意識し、「人以下」という表現とします。	地域懇談会

「新しい福島県総合計画 中間整理案」に関する意見と対応について(パブリックコメント等)

No.	章	頁	行	該当項目名	意見等の内容	対応案	摘要
1	1	25		第1章　ふくしまの特性と時代潮流	経済展望については、一定の前提の上での展望であることは理解するが、楽観的すぎないか。財政見通しを記載していないので、あまり影響は出ないのかもしれないが。あえて人口と経済を置く必要があるのか。時代潮流でさらっと入れるぐらいでもいいのではないか。	○施策の展開にあたり参考としてまいります。 ご意見につきましては、今後の検討にあたり、参考とさせて頂きます。	審議会
2	3			第3章　ふくしまの基本方向	過疎地域と都市の格差について、そこをもっと突っ込んで記載して欲しい。	○中間整理案のとおりとします。 過疎・中山間地域等に関わる問題については、第3章　政策分野〔礎-2〕において、人口減少・高齢化の影響を大きく受けること、就業の場の不足により人口減少が生じていることなどの課題を記載しておりますので、ご理解願います。	審議会
3	3			第3章　ふくしまの基本方向	過疎・中山間地域の問題は5年間で緊急に取り組むものだが、切迫感や危機感が伝わってこないので、意気込み等も含めて表現を工夫すべき。	○中間整理案のとおりとします。 過疎・中山間地域等に関わる問題については、第1章　3時代潮流、(1)人口減少・超高齢社会の本格的な到来　において、人口半減、老年人口が人口の半分を占めるなど深刻さに関する状況、認識を記載しているところです。 なお、計画の推進にあたっては、ご指摘の趣旨に留意して取り組んでまいります。	審議会
4	4	71	10	第4章　基本方向の実現方策	また、実効性のあるものにするためは、実行計画のようなものを作るのか、あるいは予算で出していくのか、その辺りが見えればよいのではないか。	○ご意見を踏まえ今後検討してまいります。 実行性については、、第4章　3実効性の確保(3)計画の進行管理に記載しているところですが、今後の推進にあたり、ご指摘の趣旨に留意して取り組んでまいります。	審議会
5	5	80	27	第5章　政策分野別の重点施策	農林を守る人をつくる施策が必要。山村に人が住まなくて良いのか、住まなければならないのであれば、その環境を作る必要がある。住みよい、安全で安心な県土のためには山村に人が住める施策、山村を守る施策が必要。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 農林水産業は本県において重要な産業であるほか、県土の約8割を占める過疎・中山間地域も重要な存在であることから、今回の計画においては、それぞれを独立した項目として推進していくこととしておりますので、ご理解願います。	審議会
6	5	85	12	第5章　政策分野別の重点施策	(3)産業を支える多彩な人々の活躍 ③女性や高齢者等の就業環境の整備、就業機会の増加就労支援は、高齢者・女性だけではなく、障がい者やニートも問題になる。個別に分けて打ち出すよりは、「人が」のように特定しない方がよいのではないか。	○中間整理案のとおりとします。 障がい者やニートの就労支援については、就業支援を行う内容で計画に記載しておりますが、就労以外の周辺環境（自立支援等）の支援と相まって就業支援の効果が高まることから、それぞれの支援項目において記載する扱いとしていますのでご理解願います。	審議会
7	5			第5章　政策分野別の重点施策	国と県の政策が乖離してはまずいのではないか。各省庁における施策との整合性を図る必要があるのではないか。	○ご意見を踏まえ今後検討してまいります。 国が施策の方向性を明示しているものについては、内容を勘案した上で、必要なものについては、整合性の確保について留意してまいります。	審議会
8				全体	どうやって住民参加型にするか、住民の力によって県をよくして行くのかが重要。 たとえば、コミュニティーセンターなどで配付して議論できるようなものになって欲しい。住民がどう使うか、活用するかが大切。	○ご意見を踏まえて今後検討していきます。 計画書の分かりやすい概要版を作成するほか、計画書が一般の方に、より容易に入手しやすいような工夫をしてまいります。	審議会
9				全体	行政の作る計画は、これまではすべて右肩上がりの状況であった。しかし、今度はお金がない、人が減る、高齢者は増える、そのような状況でどう計画を作るか、発想を変えていけなければならない。 誰のために、誰に見せるという事を意識することが必要。	○ご意見を踏まえて今後検討していきます。 今回の計画書については、ご指摘のとおり県民の皆様にお見せする観点を重視しており、このため、計画書の分かりやすい概要版を作成するほか、計画書が一般の方に、より容易に入手しやすいような工夫をしてまいります。	審議会